

NYマーケットレポート(2013年2月25日)

昨晚の外国為替市場は、イタリア総選挙で序盤に財政再建路線の継続を表明している中道左派連合が優勢と伝わったことから、NY市場のドル円・クロス円は比較的堅調な展開で始まりました。しかし、緊縮策大幅緩和を掲げるベルルスコーニ前首相の中道右派連合が上院の過半数に満たないものの、対立陣営の勝利を不可能にする議席を獲得したとの報道を受けて、再選挙の可能性が示唆されたことから、財政再建が遅れるとの見方が強まり、ユーロ売りが優勢となりました。そして、投資家のリスク回避の動きが強まり、円がすべての主要通貨に対して買われる動きとなりました。特に、ユーロ/円は、NY市場序盤の125円台から118円台まで大きく下落する動きとなりました。

2013/2/25 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	94.15	94.54	93.98
EUR/JPY	124.46	124.96	123.90
GBP/JPY	142.51	142.81	141.96
AUD/JPY	96.82	97.42	96.49
EUR/USD	1.3223	1.3220	1.3181

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	94.19	93.70
EUR/JPY	125.07	124.09
GBP/JPY	142.78	141.81
AUD/JPY	96.98	96.54
EUR/USD	1.3305	1.3217

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	91.68	94.14	90.90
EUR/JPY	119.84	125.20	118.74
GBP/JPY	139.11	142.42	137.89
AUD/JPY	94.21	97.00	93.58
NZD/JPY	76.42	79.03	76.09
EUR/USD	1.3075	1.3318	1.3048
AUD/USD	1.0278	1.0318	1.0265

米主要株	終値	前日比
米ダウ平均	13784.17	-216.40
S&P500	1487.85	-27.75
NASDAQ	3116.25	-45.57
その他主要株	終値	前日比
■トロント総合	12650.78	-50.76
■ボルサ指数	43497.20	-378.53
■ボエスバ指数	56617.56	-79.50

2/26 経済指標スケジュール

11:50 【NZ】1Q RBNZインフレ期待
 14:00 【シンガポール】1月鉱工業生産
 14:00 【日】2月中小企業景況判断
 16:00 【南ア】12月景気先行指標
 16:00 【南ア】4Q GDP(前年比)
 23:00 【米】S&P/ケース・シラー[総合20]
 23:00 【米】4Q住宅価格指数
 23:00 【メキシコ】4Q経常収支
 23:00 【メキシコ】1月貿易収支
 00:00 【米】1月新築住宅販売件数
 00:00 【米】1月新築住宅販売件数(前月比)
 00:00 【米】2月リッチモンド連銀製造業指数
 00:00 【米】2月消費者信頼感指数

・バーナンキFRB議長議会証言

欧州主要株	終値	前日比
英FT100	6355.37	+19.67
仏CAC40	3721.33	+15.01
独DAX	7773.19	111.28
ST欧州600	289.30	+0.73

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1586.60	+13.80
NY 原油	93.11	+0.02

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.24%	0.25%
3年債	0.36%	0.39%
5年債	0.76%	0.83%
7年債	1.23%	1.33%
10年債	1.86%	1.97%
30年債	3.06%	3.16%

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 93.99 ユーロ/円 124.96 ユーロ/ドル 1.3300

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6374.89	+39.19	ダウ INDEX FUTURE	14044	+63
仏 CAC40	3775.21	+68.93	S&P500 FUTURE	1522.70	+8.10
独 DAX	7842.86	+180.95	NASDAQ FUTURE	2757.50	+21.75

(出所:ブルームバーグ)

22:30

《 経済指標の結果 》

1 月シカゴ連銀全米活動指数 -0.32(前回 0.25)

前回発表の 0.02 から 0.25 に修正



(出所:ブルームバーグ)

《シカゴ連銀全米活動指数》

指標結果データ

1 月・12 月・11 月・10 月・9 月・8 月

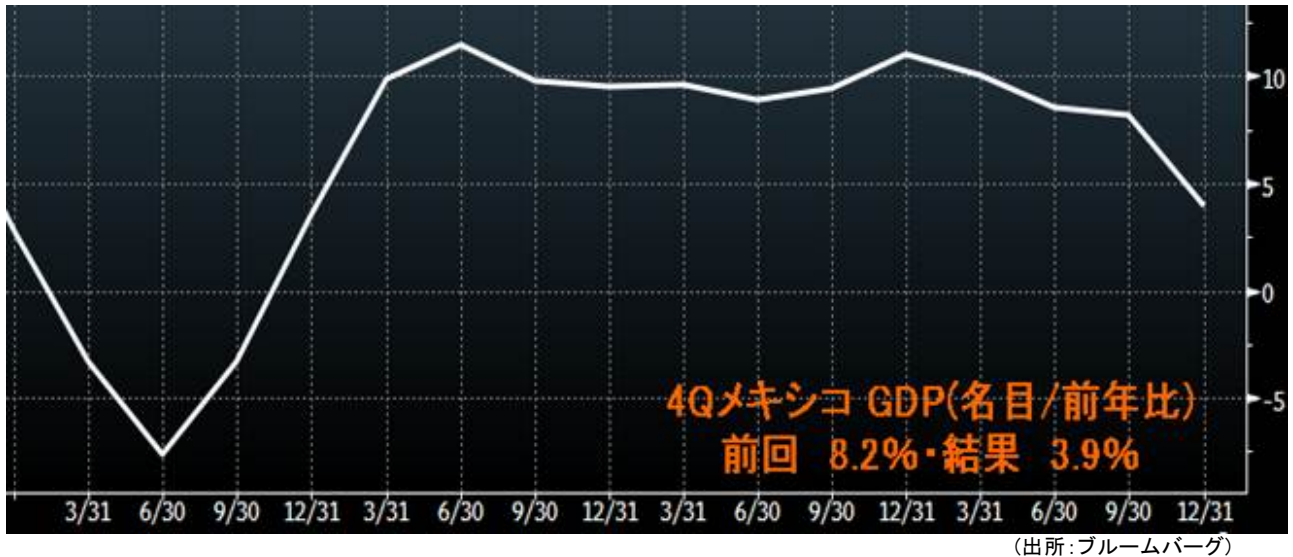
活動指数・・・・-0.32・+0.25・+0.96・-0.54・-0.07・-1.07

3 カ月平均・・・・+0.30・+0.23・+0.12・-0.56・-0.36・-0.48

23:02

《 経済指標の結果 》

4Q メキシコ GDP(名目/前年比) 3.9%(前回 8.2%)



23:05

イタリア総選挙、下院は中道左派が 34.5%、ベルルスコーニ連立 29%、グリッロ氏 19%、モンティ氏 9.5%～出口調査

23:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	14057.22	+56.65
ナスダック	3184.03	+22.21

(出所:ブルームバーグ)

0:30

《 経済指標の結果 》

2月ダラス連銀製造業活動指数 2.2%(前回 5.5%)



0:30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、イタリア総選挙で、財政再建派が優勢と伝えられたことを受け、欧州市場が堅調に推移していることなどを好感し、主要株価は堅調な動きとなった。ただ米連邦歳出の強制削減の発動が3月1日に迫っていることもあり、利益確定のための売りも出やすくなっている。

0:40

伊上院選、ベルサニ氏 29.7%、ベルルスコーニ氏 31%～調査

《ここまでの欧州のポイント》

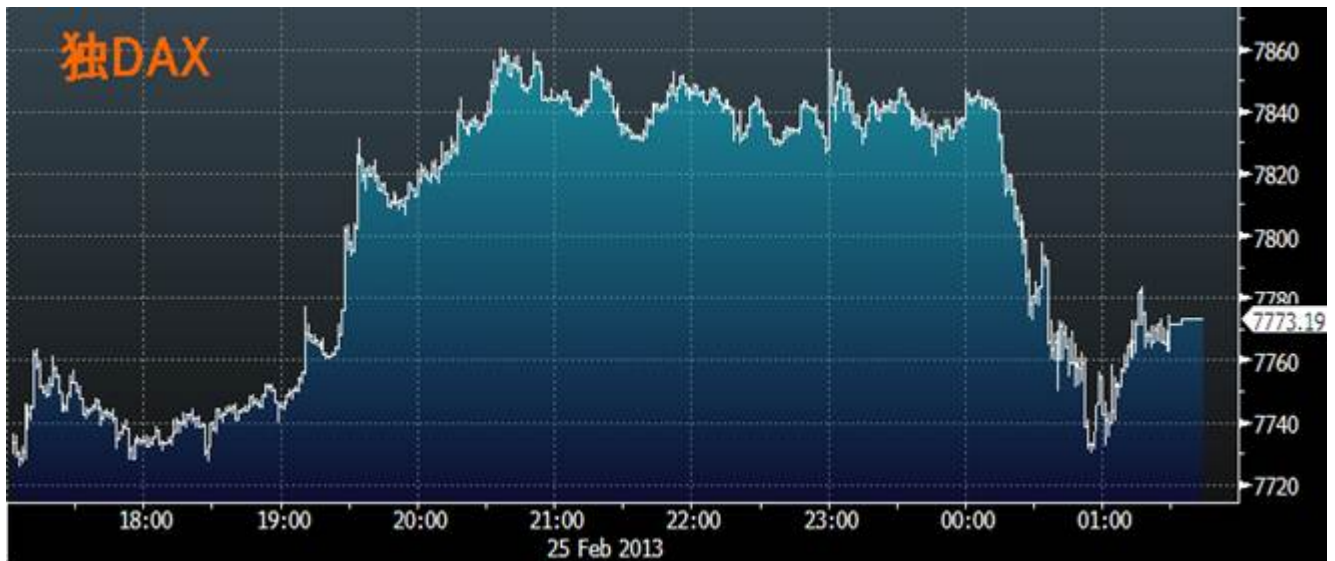
- ①イタリア政府が実施し、28 億 2000 万ユーロ(約 3500 億円)相当の2年物ゼロクーポン債を発行。平均落札利回りは1.682%(前回 1.434%)、応札倍率は1.65 倍(前回 1.45 倍)。目標上限は30 億ユーロだった。
- ②イタリア総選挙は投票が締め切られた。緊縮策の是非が争点で、緊縮策支持派が上下両院で過半数を制するかが注目されている。同派が過半数割れした場合、同国の財政不安が再燃しかねない。投票終了直後に公表された投票当日の支持率調査では、モンティ政権の財政再建・緊縮策を大枠で支持する中道左派連合(民主党など)が35～38%で首位となり、緊縮策大幅緩和を掲げるベルルスコーニ前首相の中道右派連合(自由の人民など)が29～32%で続いた。反緊縮・反既成政党の「五つ星運動」は17～21%、緊縮策堅持を訴えるモンティ首相の中道連合(キリスト教中道民主連合など)は7～10%だった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6355.37	+19.67
仏 CAC40	3721.33	+15.01
独 DAX	7773.19	+111.28
ストック欧州 600 指数	289.30	+0.73
ユーロファースト 300 指数	1169.31	+3.73
スペイン IBEX35 指数	8244.50	65.50
イタリア FTSE MIB 指数	16351.99	+118.71
南ア アフリカ全株指数	39787.96	+130.14

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、25 日開票が始まったイタリア総選挙で財政再建派が優勢と伝えられ買いが優勢となった。ただ、引けにかけては選挙結果の行方に不透明感が広がり上げ幅を縮めた。



(出所:ブルームバーグ)

1:30

《 要人発言 》

オバマ米大統領～演説

- ・「歳出自動削減で経済は減速、雇用喪失へ」
- ・「歳出自動削減めぐる不透明感、すでに影響出てい」
- ・「議会はいつでも歳出自動削減を止めることが可能」

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 13946.43(-54.14)、 S&P500 1513.83(-1.77)、 ナスダック 3158.64(-3.18)

《 NY 債券市場 ・午前 》

午前の債券市場は、イタリア総選挙で 財政再建路線の継続を表明している中道左派連合が優勢と伝わったことから投資家がリスク志向を強め、安全資産とされる米国債の売りが先行したが、その後、緊縮路線を批判するベルルスコーニ前首相の中道右派連合がリードしているとの報道を受けて買い戻しが入り、もみ合う展開となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.15%(前週末 3.15%)、10 年債が 1.96%(1.96%)、7 年債が 1.31%(1.32%)、5 年債が 0.82%(0.83%)、3 年債が 0.39%(0.39%)、2 年債が 0.25%(0.25%)。

3:00

《米財務省 2 年債入札》

最高落札利回り……0.257%(前回 0.288%)
 最低応札利回り……0.199%(前回 0.225%)
 最高利回り落札比率…74.46%(前回 13.41%)
 応札倍率…………… 3.33 倍(前回 3.77 倍)

《ポイント》

イタリア総選挙の出口調査で、ベルサニ陣営が単独過半数の可能性との報道を受けて、イタリア債と株価は上昇した。しかし、その後、ベルルスコーニ陣営が上院の過半数に満たないものの対立陣営の勝利を不可能にする議席を獲得したとの報道を受けて、ベルサニ氏とモンティ首相が支持した緊縮財政を国民が拒絶する結果となったことから不安が広がり、ユーロは大きく下落する動きとなった。

開票・集計の過程で、ベルサニ陣営の経済政策責任者がインタビューで「結果見通しには統治不能の可能性が示されている」とし、過半数政党がない議会では経済プログラムも構造改革も前進しないとの見方から、再選挙の可能性も指摘されている。この場合、ナポリターノ大統領が暫定政権を置き、新たな選挙法を策定させる可能性も考えられる。

4:50

NY 金は、中心限月が前週末比 13.80 ドル高の 1 オンス＝1586.60 ドルで取引を終了した。

5:30

NY 原油は、中心限月が前週末比 0.02 ドル安の 1 バレル＝93.11 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1586.60	+13.80
NY 原油	93.11	+0.02

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

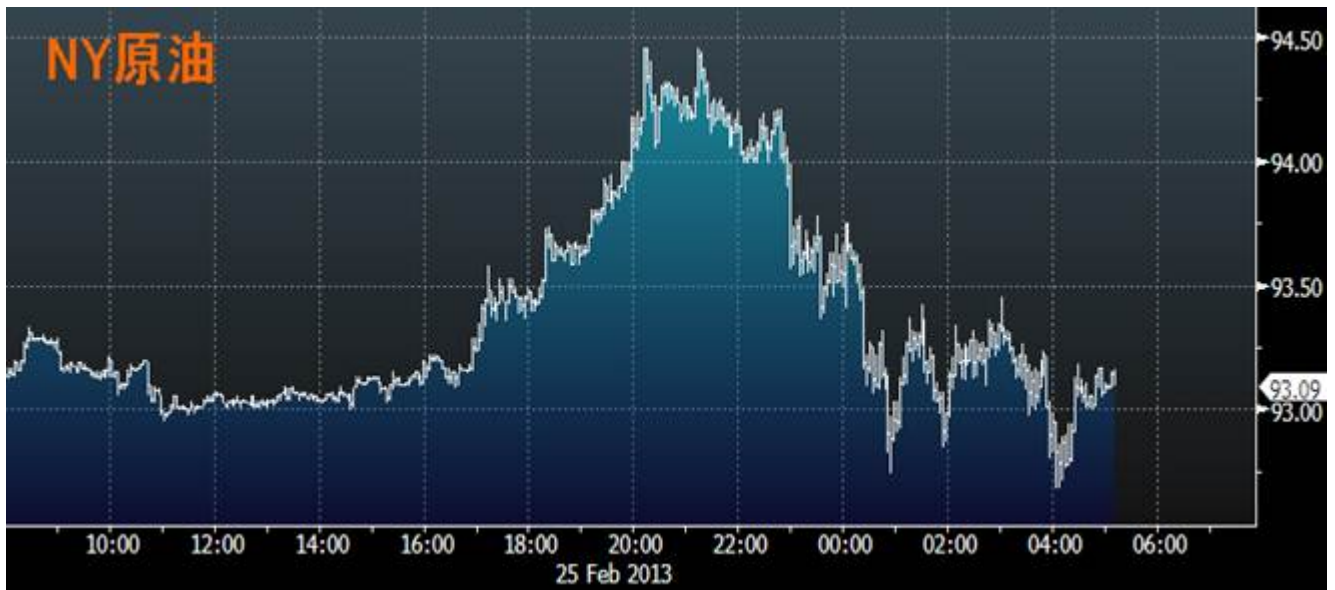
NY金は、前週末に約 7 ヶ月ぶりの安値水準まで下落したことを受けて、値頃感からの買いが先行した。また、ドルがユーロに対して下落したことも、ドルの代替資産とされる金の買い材料となったが、その後はドルの反発につれて売りも出て伸び悩んだ。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、中国の 1 月の原油輸入が前年同月に比べて増加したと伝わったことを好感して買いが先行した。その後はイタリア総選挙の結果への不透明感を受けて、米国株が下落したことから、投資家のリスク回避の動きが強まり売り優勢となった。



米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	13784.17	-216.40	14081.58	13784.01
S&P500 種	1487.85	-27.75	1525.84	1487.85
ナスダック	3116.25	-45.57	3186.25	3116.25

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、欧州市場が堅調に推移していることなどを好感し、主要株価は堅調な展開が始まった。ただ米連邦歳出の強制削減の発動が3月1日に迫っていることもあり、利益確定のための売りも出やすくなっていた。そして、イタリアの総選挙を受けて投資家のリスク回避の動きが強まり、大幅下落となった。ダウ平均株価は、序盤は堅調な展開が続いたものの、終盤にかけて軟調な展開が続き、前週末比 200ドル安を超える大幅安となった。



主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	91.68	94.14	90.90
EUR/JPY	119.84	125.20	118.74
GBP/JPY	139.11	142.42	137.89
AUD/JPY	94.21	97.00	93.58
NZD/JPY	76.42	79.03	76.09
EUR/USD	1.3075	1.3318	1.3048
AUD/USD	1.0278	1.0318	1.0265

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、イタリア総選挙で 過半数を獲得できる政党がなく、再選今日の可能性が指摘されたことから、投資家がリスク回避の動きが強まり、ユーロを中心に軟調な動きとなり、円がすべての主要通貨に対して大幅に上昇となった。特に、ユーロ/円は高値の 125 円台から 118 円台まで大幅に下落した。



(出所:ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。